



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社JFLAホールディングス
代表者名 代表取締役社長 檜垣 周作
(コード番号: 3069 STANDARD)
問合せ先 法務総務部 部長 尾崎 富彦
(TEL. 03 - 6311 - 8892)

特別利益、特別損失の計上及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、下記の通り2022年3月期第4四半期において、特別利益、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2021年5月14日に公表した通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益について

(1) 助成金収入

新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止協力金、営業時間短縮協力金、雇用調整助成金等の申請により「助成金収入」220百万円を計上いたします。2022年3月期連結会計年度では1,158百万円となりました。

2. 特別損失について

(1) 減損損失 (のれん)

株式取得により発生したのれんについて、外部環境の変化を踏まえ今後の計画を保守的に見直した結果、のれんの「減損損失」724百万円を計上いたします。

(2) 減損損失 (固定資産)

新型コロナウイルス感染症拡大等による経済環境の変化から、収益性の低下が見込まれる固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当社が保有する共用資産及び店舗資産について減損会計処理を適用し、固定資産の「減損損失」426百万円を計上いたします。

なお、2022年3月期連結会計年度の減損損失は1,403百万円となりました。

(3) 債権譲渡損

当社子会社が保有していた債権について、譲渡に伴う損失として、「債権譲渡損」を411百万円計上いたします。

3. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年5月14日発表)	76,500	670	430	110	2円63銭
今回実績 (B)	70,374	△791	△827	△1,846	△42円67銭
増減額 (B-A)	△6,125	△1,461	△1,257	△1,956	—
増減率 (%)	△8.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	69,619	△1,185	△1,503	△2,558	△61円05銭

(1) 差異の理由

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症における時短営業など外出行動の制限による影響を受けております。また、社会情勢による輸出入の制限や原材料費の高騰による影響を受けたことにより、当初の計画と比較し差異が生じております。

① 売上高について

売上高につきましては、計画比△6,125百万円となりました。主な要因は、コロナ禍による影響及び「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当連結累計期間の売上高が2,585百万円減少したことによるものであります。

② 営業利益・経常利益について

営業利益・経常利益につきましては、営業利益は計画比△1,461百万円、経常利益は計画比△1,257百万円となりました。

主な要因は、新型コロナ禍の影響により時短営業や来店人数の制限などによる営業制限に加え、エネルギー価格の上昇による燃料費や物流費用の増加、大幅な円安による仕入原価の上昇、輸出入の制限による原材料費の高騰、販売先の取扱高の減少によるものであります。

③ 親会社株主に帰属する当期純利益について

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、計画比△1,956百万円となりました。主な要因はのれん残高の回収可能性見直しによる減損損失971百万円、収益性の低下が見込まれる固定資産における減損損失431百万円などを計上したことによるものであります。

以上